

次代を担う学生諸君へ 第一等を目指そう

高崎経済大学経済学会長
山崎 益吉

新入生の皆さん入学おめでとうございます。これから皆さんは高崎経済大学で研究生活に入ることになります。優れた先生方が沢山いますので、どうか有意義な学園生活を送っていただきたいと思えます。研究には限りがありません。優れたカリキュラムのなかから、それぞれが目指す分野で一流を極めていただきたいと思えます。どういう研究分野に立とうとも、第一等を目指してほしいということです。

だが、どういう分野を選ぼうとも、次の視点は非常に大切ですので努力してみてください。

一、物事を枝葉末節に捉えることなく、本質を見きわめるよう努力してほしいということ。これまで皆さんの勉強はどちらかといえば、大学に入るための受験勉強、技術的なものが多

かったと思えます。これでは物事の本質を掴むのは難しいでしょう。これからは歴史的、社会的に現実を捉えることが必要です。

二、物事を短期的に見るのではなく、長期的に捉えて欲しいということです。つまり、目先の利益に走らずに、人間的な立場に立って何が大切かという視点で物事を捉えて欲しいということです。「利にしたがえば怨み多し」にならないためには、何が公、人類にとって大切な視点か

点、「理にしたがえば裕（ゆたか）なり」が大切です。

三、つねに、世界的、地球的視点から物事を考えて欲しいということ。地球から高崎経済大学、己を見る

という視点です。これからは、地球的視野で羽ばたいていかなければなりません。世界的視野に立って世界的に行動するという視点です。歴史は世界的視野で物事を捕らえ、活躍することがいかに大切であるかを教えています。

どうか、以上三点に留意し、『学びへのいざない』やそれぞれの講義や各クラブ、サークルなどを通じて、文字通り、二一世紀を担うリーダーを目指して欲しいと思います。

